

応援してください



私たちは皆、それぞれに異なる感性と個性を持っていますが、それを認め合い、互いに支え合いながら暮らしています。

自閉症の人々はアンバランスな発達の仕方をしており、まわりの人々には理解できない行動をあらわすことがあります。多くの人々の目には変わった行動に映るかもしれませんが、理解しにくい人々たちと思われるかもしれませんが、そのために偏見や誤解が生じてくるのです。自閉症の人々の行動の意味を考え、「よい点」を見つけるようにして頂くと、自閉症の人々は社会の中で生き生きと暮らすことができるのです。

自閉症の人々は、まっすぐに純粋に生きています。私たちが見失ってきた純粋さを持ち続けているのです。自閉症の人々と共に生きることで、私たちは純粋さを取り戻すことができるのです。「絆」で結ばれた真の意味での「共生(共存)社会」になることを心から願っております。

文/ 世界自閉症啓発デー・日本実行委員会委員長
一般社団法人日本自閉症協会会長
市川 宏伸

日本各地で啓発イベントが行われます。
詳しくは公式サイトへ



啓発デー

応援メッセージを
募集しています

世界自閉症啓発デー 日本実行委員会公式サイト
<http://www.worldautismawarenessday.jp/>

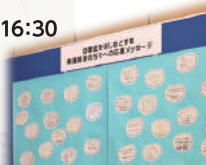
世界自閉症啓発デー 2017 シンポジウム

パネル
ディスカッション
絵画作品展
など

テーマ **たいせつなことを あなたに きちんとつたえたい
～発達障害のこと～**

●日時 4月8日(土) 10:00～16:30
●会場 全社協・灘尾ホール
東京都千代田区霞が関3丁目3番2号

お問い合わせ先 一般社団法人日本自閉症協会
TEL.03-3545-3380 FAX.03-3545-3381



世界各地や日本各地で啓発活動や ブルーライトアップが行われます

WEBサイトでも
情報を検索できます ▶ <http://happy-autism.com/>



東京タワー ライト・アップ・ブルー

- 日時 4月2日(日) 18:30～22:00
- 会場 東京タワー 東京都港区芝公園4丁目2番8号
- 協力 日本電波塔株式会社



世界自閉症啓発デー 2017・日本実行委員会

- 主催 厚生労働省(発達障害情報・支援センター)／一般社団法人日本自閉症協会
共催 国立特別支援教育総合研究所／全日本自閉症支援者協会
日本自閉症スペクトラム学会／日本発達障害ネットワーク
発達障害者支援センター全国連絡協議会／全国情緒障害教育研究会
全国児童発達支援協議会／自閉症児者を家族にもつ医師・歯科医師の会

●リサイクル適性の表示=紙へリサイクル可 このリーフレットは、グリーン購入法に基づく基本方針における「印刷」に係る判断の基準にしたがい、印刷用の紙へのリサイクルに適した材料[Aランク]のみを用いて作製しています。



毎年 4月2日 は

国連の定めた 世界自閉症啓発デー

※国連が定める啓発デーには、3月21日の「世界ダウン症の日」もあります。

発達障害啓発週間 4月2日～8日

●青(ブルー)で伝えるとは
ブルーは癒しや希望などを表す色です。世界自閉症啓発デー日本実行委員会は、青(ブルー)を自閉症や発達障害を理解していただくためのシンボルカラーとして使用しています。



国連で決議を採択

第67回国連総会において、平成24年12月12日、バングラデシュが提案国である「自閉症スペクトラム障害、発達障害」決議がコンセンサスにより採択されました。これは、世界自閉症啓発デーの理念を具体化することを各国に呼びかけるものです。

世界自閉症啓発デー 日本実行委員会公式サイト
<http://www.worldautismawarenessday.jp/>

世界自閉症啓発デーとは

国連総会(H19.12.18開催)において、カタル王国王妃の提案により、毎年4月2日を「世界自閉症啓発デー」(World Autism Awareness Day)とすることが決議され、全世界の人々に自閉症を理解してもらう取り組みが行われています。

わが国でも、世界自閉症啓発デー・日本実行委員会が組織され、自閉症をはじめとする発達障害について、広く啓発する活動を行っています。

具体的には、毎年、世界自閉症啓発デーの4月2日から8日を発達障害啓発週間として、シンポジウムの開催やランドマークのブルーライトアップ等の活動を行っています。

自閉症をはじめとする発達障害について知っていただくこと、理解をしていただくことは、発達障害のある人だけでなく、誰もが幸せに暮らすことができる社会の実現につながるものと考えております。

みなさまのご理解とご支援をお願いいたします。



自閉症を知っていますか

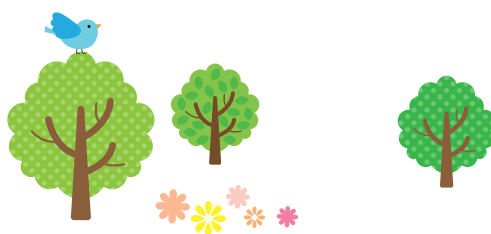
自閉症は、「常に自分の殻に閉じこもっている状態」と考えられたり、「親の育て方が冷たかったということが原因ではないか」と思われることがありますが、これは正しくありません。

脳の発達の仕方の違いから「他の人の気持ちや感情を理解すること」「言葉を適切に使うこと」「新しいことを学習すること」などが苦手であり、一般的な「常識」と思われることを身につけることも苦手です。このため、真面目に取り組んでいても、誤解されることがあります。

なお、自閉症の人たちは、とても「純粋」で、自分の感じたままに話したり、行動したりすることがあり、感覚が過敏であったり記憶が抜群な人もいます。

このような、自閉症の人たちの行動や態度や意味を理解していただき、愛情をもって支援していただくことを願っています。

自閉症の人たちは、周囲の愛情と支援によって大きく育つことができます。



こうしてもらえると助かります

自閉症の人には、会話が苦手な人が多いです。このため、その人の発達に応じたわかりやすい説明をお願いします。例えば、その人が理解している言葉を知り、その言葉を使うことや、写真や絵などを添えて説明する、抽象的な表現をさけて、短い表現で話すことなどで、理解しやすくなります。

また、過敏で、人混みや大きな音、光といった刺激を苦手とする人が多いです。このような刺激による不快感を増幅させないよう安心できる環境を調整して作ってあげてください。

新しいことや、いつもとやり方が違う時に、困って混乱することがあります。また、「できない時」「間違っていた時」に叱って教えようとすると、本人が混乱して余計に理解できなくなったり、将来に悪影響を及ぼすこともあります。どうすればよいのか、正しい方法ができるだけ具体的に教えることを基本に、穏やかに根気よく接して、良い関係を作るようにしてください。

